

平成30年度 第8回 運営会議ニュース

日 時	平成30年12月9日（日）13:30~15:00
場 所	県立座間谷戸山公園 パークセンター（レクチャールーム）
出 席 者	10名

議題：各ゾーンエリアの管理について（各団体等からの報告事項）

●グリーンタフ・谷戸山公園グループ

11月の定例自然観察会の報告等：野鳥の原っぱに以前多く見られたコセンダングサやオオオナモミが見られなくなったが、植物も栄枯盛衰があるのだと思う。伝説の丘のムクノキの大木は、手が届く高さの実のついた枝があり（他の場所では手が届かない）、甘い実の味を確認した。北西14付近のイヌザンショウが枯れてしまったと思われる。

●座間のホタルを守る会

- ・南谷戸の田んぼ上部の沼地（3つ）の手入れとして、沼を深くする作業と周辺の草刈りを行った。
- ・12月14日に、南水路に面した斜面の草刈りや樹木の伐採などを行う。
- ・南谷戸に立ち入る日を記載するためのホワイトボードが野鳥観察小屋等に設置された。各団体も作業日の記載をお願いしたい。

●専門委員

今日の午前中9:30から12:00まで、ぼらぼら2名、ホタルの会2名、公園管理事務所1名とカエル2号沼の手入れ（カエルの産卵水域の確保）を行った。沼を掘り下げたが、土の粘りが強く、作業が大変であった。今後の産卵に使われることを期待したい。この沼は開園後に一度埋まり、15~20年くらい前に復活させた後も毎年の手入れが必要となっているが、土砂が一年でこんなにも堆積するものかと不思議に思う。⇒（委員）大雨で一気に流れてくるのでは。

●谷戸山自然ボランティア

- ・12月2日までに飛来した「冬鳥」は、マガモ、オシドリ、オナガガモ、コガモ、シメ、トラツグミ、ミソサザイ、シロハラ、ソウシチョウ、ツグミ、アオジ、ジョウビタキなど。
- ・観察できた「留鳥」は、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ウグイス、ヒヨドリ、コゲラ、ヤマガラ、カワセミ、コジュケイなど。コサギやアオサギは最近あまり確認できない。
- ・11月19日にわきみずの谷のクサレダマ保護区域のセイタカアワダチソウを抜き取った。
- ・野鳥観察ウォール周辺に野鳥を誘致するため、タチヤナギを1~2本植えたい。

●写楽会

3月頃に咲くはずのホトケノザが開花していた。（写真を回覧）

●厚木土木事務所東部センター

- ・ログハウスと昆虫の森のエリアの危険木処理について、公園管理事務所経由で対象木のリストを皆さんにお送りしたが（特に要望等が無かったので）、12月11日から作業を開始する。
- ・伝説の丘の旧民地の竹林の伐採（抜根まで）が完了した。元所有者（現在も隣接住民）から跡地にサツキやツツジを植えることを要望された。法面の安定化にもなるので植栽種を検討中。⇒（専門委員）アジサイも良いのでは。土留め効果があり、鎌倉でも植栽されている。
- ・予定通り年明けに、木製階段の擬木化工事と東口トイレの便器の洋式化等の工事を開始する。
- ・県道42号災害防除工事は、年内に法面への植生マット張り等を行い、今年度分は完了する。

●公園管理事務所（略：公園）

- ・南谷戸田に野鳥を誘致する実の成る木として植えられた柿の木について、公園利用者より「今後、野鳥観察小屋から池への眺望の支障になると思うので、幼木のうちに移植すべき」という要望があった。⇒（会長）森の学校側の土手に移植するのが良いのでは。
- ・ログハウスのピオトープ池の漏水修繕が行われるが、年末までに池の生物を水鳥の池に移動したい。⇒（委員）了承

- ・今月の里山保全隊は、当初の計画通り、ログハウス東側樹林地の手入れを行う。
- ・1月中旬から下旬頃、野鳥の原っぱ（南西側の区画等を除く）と休耕田（2面のうち東側の面）の除草を行う。⇒（会長）1月20日の探鳥会の日はできれば避けてほしい。
- ・1月から2月頃、湿生生態園下池の浚渫および防災井戸側の陸化した部分のヨシ等の抜根を行う。

次回開催日時	平成31年1月13日（日）13：30～16：00 ※2月は休会の予定
--------	------------------------------------

※運営会議後の進捗状況や最新情報も必要に応じて記載しています。

※運営会議への提案や傍聴を希望される方は、公園管理事務所までお申し出下さい。